第19回富山県食品ロス・食品廃棄物削減推進県民会議の概要

１　日　時　　令和８年10月6日（火）10：00～11：30

２　場　所　　富山県民会館８階バンケットホール

３　内　容

（１）議　事

ア　富山県食品ロス削減推進計画に基づく食品ロス等削減に係る取り組みの進捗状況について

イ　意見交換

４　主な意見の概要

＜食品ロス全般＞

・食品ロス削減活動に関心のない人に関心を持たせるような努力をよりしていくべきではないか。また、他県での食品ロス削減活動の成功事例を聞き、富山県での活動に取り入れるべきではないか。県民会議で他県の取組内容もぜひ紹介をしてほしい。

・県内の食品ロス削減活動の成果を県民に周知することが重要ではないか。

・10月は食品ロス削減月間ということを県民に周知する活動が必要なのではないか。同じ内容の活動を繰り返すのではなく一度、勢いを盛り返すようなアクションが必要なのではないか。

＜家庭系食品ロス＞

・富山県でフードドライブ件数がなかなか増えない原因としては、自治体や関係団体との連携不足であると考えられるため、より連携を強めていく必要があると考えている。

・集客力のある場（イベントなど）における、消費者に対する食品ロス削減の啓発を強めてほしい。また、食品ロス削減推進サポーター育成講座のPRを学校などにも行っていけば受講者も増えるのではないか。

＜事業系食品ロス＞

・県で登録を募集している商慣習見直し宣言事業者については、県内の各事業者も既にいろいろな形で取組を進めていると思われるため、登録方法等を見直す必要があると考えている。

・食べきり 3015 運動について、レストランやホテル以外にもイベントの主催者や宴会においては幹事、司会者にも協力を依頼していくべきではないか。

・近年はドラッグストアでの食品の購入が増えてきているが、消費者だけでなく販売する側の意識改革も必要であると考えている。

・食べ残し持ち帰りをぜひ推奨してほしいと考えている。

・食品廃棄物由来の食品循環資源は肥料化や堆肥化するうえで優れたものであるため、農業生産の振興や食品安全保障の観点からも、食品ロスを減らしたうえで排出された食品廃棄物を有効活用する取組を進めて行けばよいと考えている。

・県内での若い人のアイデアを取り入れた新たな活動について情報発信するとともに、motteco 普及コンソーシアムとも連携しながら外食店の取組も情報発信していけば良いと思う。